



## HIGHLIGHT

## 話題の「新潟大学UA（University Administrator）制度」を解説します

新潟大学では、新潟大学将来ビジョン2030及びその実現戦略としての第4期中期目標中期計画において、「アカデミアの大学から社会の中の大学へ」を基軸とした社会共創を主戦略として掲げ、得られた研究成果の社会実装や大学自身の持つ社会的な機能を最大限発揮するための大学経営体制の整備・強化を行っています。

そのような経営体制強化の一環として、各部署で採用配置されてきた多彩な高度専門人材が外部資金の活用により大学経営を推進するマネジメント人材として活躍できる組織・人事・育成等のシステムを構築することとし、教員職、事務職と並ぶ職として新たにUA（University Administrator）職として位置付け、2023年4月に所属組織として学長直轄の経営戦略本部に「UA室」を、さらに、2025年4月にUA独自の職階等を備えた人事・育成制度「UA制度」を構築しました。  
本号では、UA制度の特徴を解説いたします。

経営戦略本部UA室HP：<https://www.niigata-u.ac.jp/university/facility/management/ua/>



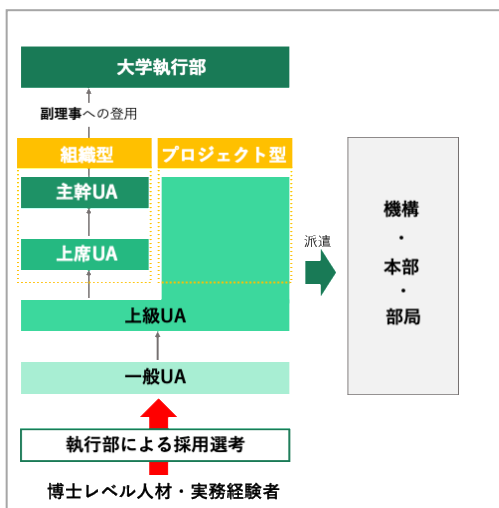
経営戦略本部 UA室長  
川端 和重

## 新潟大学UA制度の特徴

- UA独自の職階と大学執行部へのキャリアパス
- 執行部による採用/昇格
- 評価に基づく業績給型年俸制給与
- 裁量労働制

## UA独自の人事制度「UA制度」

UA制度では、その職務に応じて4つの職階が設定され、副理事として大学経営に携わる道も整備されています。UAは所属組織であるUA室から、それぞれの専門に応じて、研究推進や産学地域連携などを担当する機構等に派遣され業務を担います。



## 主幹UA

**未来の大学を構想・発信する。**学内外と協働した全学的戦略を企画・推進する。**全UAメンバーによるパフォーマンスを最大化し、大学改革を推進する。**

## 上席UA

**具体的な大学改革の企画・実現に向けて、**外部資金等を調達し学内外と協働した戦略を企画・推進する。**そのために組織マネジメントによってパフォーマンスを最大化し、大きな実績を上げる。**

## 上級UA

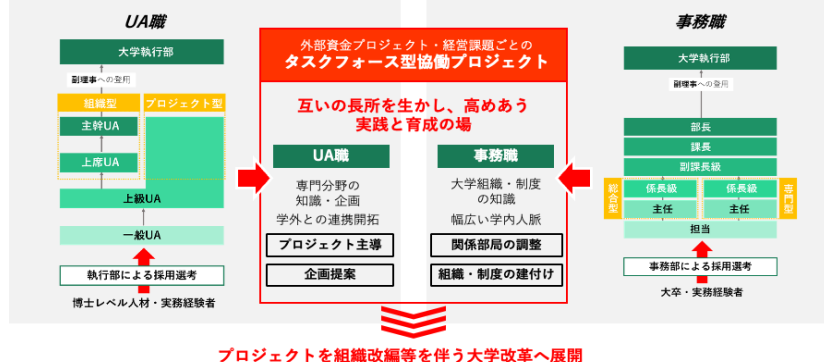
**専門領域において外部資金等を活用したプロジェクトを企画・推進する。**プロジェクトリーダーとしてチームのUAの指導をし、**プロジェクト実績を生み出す。**

## 一般UA

国や公的な事業構造や資金調達方法、発信方法等を積極的に調査・理解し、活動を行う。**与えられたプロジェクトやミッションの企画・推進を主体的に行う。**

## UA職と事務職の協働を重視しています

本J-PEAKS事業のような大型プロジェクトをはじめとして、様々なプロジェクトにおいて、教員とUA、事務職員がタスクフォースを組成して協働して業務に当たっています。専門知識に長け、企画やプロジェクトを主導するUAと、UAのアイデアを実現に向けて設計する、学内の組織・制度に通じた事務職員、それぞれが長所を生かし協働することで、大学改革が実現し、TFプロジェクト自体がUA・事務職員双方の育成の場としても機能します。



プロジェクトを組織改編等を伴う大学改革へ展開

募集

**新たなキャリアをスタートしませんか？  
新潟大学はUAの採用を拡大中です！**

大学の多様な領域で活躍いただけるUAの採用を拡大中です。  
詳しくは採用情報をご確認ください。

<https://www.niigata-u.ac.jp/university/recruit/ua/>



## ELSIセンター・国際ワークショップを開催しました（11/17）



研究統括機構ELSIセンターは、本学J-PEAKS事業における重点領域強化の一環として、ひとに関わるイノベーションやAI活用に伴う倫理的課題への対応機能を強化するため、学長直轄特区に位置づけられています。

同センターでは、2025年11月17日（月）、ザールラント大学評価センター（ドイツ）および日本評価学会との共催により、国際ワークショップ「AI時代の評価－未来を拓く人材と制度－」を開催しました。本ワークショップは、人文社会科学分野における外部資金獲得や、観光庁の地域・大学連携事業の採択を受けて実施されたものです。

当日は、日本をはじめネパール、スリランカ、ドイツから約80名（オンライン含む）の若手研究者・実務家が参加し、活発な議論が行われました。新潟大学は、J-PEAKS事業を通じて、国内外の大学・研究機関と連携し、地域に根ざし世界に貢献する研究成果の創出と社会実装を目指します。

<https://www.irp.niigata-u.ac.jp/news/12001/>

## 人材育成事業の一環として、経営推進力養成セミナーを開催しました（12/8）

令和7年12月8日（月）、J-PEAKS人材育成事業の一環として、事務職員の高度化と大学経営への理解深化、UAとの協働による多様な視点の獲得を目的に、経営推進力養成セミナーを開催しました。

第1部では、塚本 恵理事（DX推進・企画広報担当）と、ウルトラファブリックス・ホールディングス株式会社 人事総務部長の堤 敏弘氏がライトニングトークに登壇し、大学職員に求められる戦略的思考力と実行力について解説し、事前質問にも回答しました。第2部では、「大学の未来を支える中核人材に必要な視点」をテーマに、事務職員とUAによるグループディスカッションを行い、部署や役職を超えた活発な意見交換が行われました。

参加者からは、業務への意識変化や横のつながりの重要性、他部署・UAの視点に触れたことによる視野の広がりを評価する声が寄せられました。新潟大学では、令和8年度以降も、事務職員とUAの協働による人材育成の機会を継続的に創出していく予定です。

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/news/1017629/>



## UPDATE

### 2026年4月公募開始予定・全学対象「戦略的飛躍プログラム 1stステージ」公募説明会について

既報のとおり、本公募事業は、本学の強みを活かした研究力強化の一環として、新センター等との連携を要件としています。このため、**3-4月ごろに公募説明会を開催**し、新センター等の機能・特徴・連携の可能性について、広く情報提供を行う予定です。

個別相談にも対応いたしますので、少しでも関心をお持ちの方は、ぜひご参加いただければ幸いです。詳細な日程については、次号または本学J-PEAKSウェブサイトにてお知らせします。

### 2026年9月「新潟大学J-PEAKS WEEK」開催日程について

前号にて予告しました「新潟大学J-PEAKS WEEK」は、本学のJ-PEAKS関連イベントを集中的に開催し、研究力強化や大学改革の取組を学内外の皆さまに発信する取り組みです。現在、**2026年9月第2週（9月7～11日）**をコア期間として開催予定です。

単に「知ってもらう」だけでなく、意見交換や現地視察等を通じて、「共に考え、共に創る」場となることを目指し、現在準備を進めています。ぜひ今からご予定いただき、こちらも続報にご注目ください！

## ● J-PEAKSプチコラムー現場からのひとこと便り ●

昨年の4月に本格スタートしたUA制度ですが、私も同じ時期に担当として着任し、運用をしていく中で課題、課題のオンパレードで早くも1年が経過しようとしています。全国に先駆けて、専門人材に特化した人事制度を作るといことで、有難いことに全国の大学から意見交換のお申し出をいただいております。日々勉強の毎日です。こうしてお申し出をいただく背景として、本学が直近数年でJ-PEAKSやFLAGS等の大型事業を教員・UA・事務の協働体制の下で獲得し始めている、という実績が大きいと考えております。

UA制度をより一層充実させ、魅力的な職とし、人材が集まり、UAが活躍することで、本学の大学改革の一層の推進と、専門人材の育成におけるトップランナーを目指して、私も微力ながら頑張りたいと思っています。【DY】

## ● お問合せ・ウェブサイト ●

### ○お問合せ：新潟大学 研究企画推進部 研究推進課

TEL: 025-262-7174

MAIL: [kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:kenkyukyoten@adm.niigata-u.ac.jp)

### ○新潟大学J-PEAKS ウェブサイト

<https://www.niigata-u.ac.jp/j-peaks/>

本学J-PEAKS関連のイベント情報や活動状況をご確認いただけます。



### ○新潟大学J-PEAKS 学内者向けページ

<https://app.cais.niigata-u.ac.jp/shurl/fw/2PLWiy>

全学への迅速な情報共有および事業運営の透明性を図るため、予算配分を含むグランドデザインや会議資料等を、常時学内限定公開しています。よりも詳しい情報をご覧になりたい場合は、こちらにアクセス願います。

